

各大学・高等専門学校
就職支援御担当者 様

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所 労務課

「核燃料サイクル工学研究所 1day 職場見学会」の御案内について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の採用活動につきまして平素より御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般下記のとおり、核燃料サイクル工学研究所の業務を学生の皆様により広く知っていただくための「1day 職場見学会」を開催しますので、御案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日程

第 1 回：令和 8 年 7 月 17 日（金） 12：30～17：00

見学施設：地層処分基盤研究施設（ENTRY）

地層処分放射化学研究施設（QUALITY）

第 2 回：令和 8 年 8 月 21 日（金） 12：30～17：00

見学施設：プルトニウム燃料第三開発室（Pu-3）

第 3 回：令和 8 年 9 月 18 日（金） 12：30～17：00

見学施設：低放射性廃棄物処理技術開発施設（LWTF）

ガラス固化技術開発施設（TVF）

2. 当日スケジュール（予定）

12：30	東海駅東口集合 ※当機構バスにてお迎えいたします。
12：50	核燃料サイクル工学研究所 着
12：55 ～13：30	核燃料サイクル工学研究所 概況紹介
13：40 ～13：55	研究所内一巡
14：00 ～15：30	研究施設見学
15：40 ～16：30	若手職員との意見交換会
16：40 ～17：00	東海駅東口へ移動、解散 ※当機構バスにてお送りいたします。

3. 応募締切

第 1 回締切：令和 8 年 7 月 10 日（金）17 時

第 2 回締切：令和 8 年 7 月 31 日（金）17 時

第 3 回締切：令和 8 年 9 月 4 日（金）17 時

4. 募集人数

各回 15 名程度

※締切前であっても応募者が上限に達した場合は募集を締め切ります。

予め御承知おきください。

5. 申込み方法

下記 URL もしくは QR コードより回答フォームにアクセスいただき、必要事項を御入力ください。お申込みいただけましたら、申込完了通知メールを送付いたしますので、公的身分証明書のカラーデータを添付の上返送ください。

【お申込み先】 <https://forms.office.com/r/QFJz9e01T7>



6. 旅費

所属大学・高専の最寄り駅から JR 東海駅までの往復交通費について、当機構の規定に基づき後日銀行振込にてお支払いいたします。

参加にあたり宿泊を要する方については原則、外来者用多目的宿泊施設（以下 JAEA Tokai Mirai Base）に御宿泊いただきます。宿泊費（1,200 円/1 泊）は交通費同様、当機構にて負担いたします。JAEA Tokai Mirai Base が満室のため宿泊不可の場合、一般の宿泊施設に御宿泊いただき、宿泊料金の実費を支給（上限 13,100 円）することとなりますので予め御了承ください。各回の募集締め切り日翌営業日を目途に、JAEA Tokai Mirai Base の宿泊可否を御連絡させていただきます。

参加者には、事前に当機構様式の「振込依頼書」を送付いたしますので、記入の上、振込先が確認できる書類（通帳又はキャッシュカードの写し）と合わせて当日御持参ください。

※核燃料サイクル工学研究所まで日中の移動が可能な場合、宿泊費の支給が不可となります。御事情によっては支給対象となる場合がございますので事前に御相談ください。

※旅費の支給については御参加いただいた日程のうち、2 回まで支給となります。

例：全日程（3 回）に御参加いただいた場合、2 回分の旅費のみ支給いたします。

7. その他

- (1) 当日は、事前に写しを御提出いただいた顔写真付き公的身分証明書の原本（運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等）、を必ず御持参ください。
- (2) 構内は写真撮影が禁止されています。また、構内へのカメラの持ち込みは禁止されています。もし手荷物の中にカメラが含まれている場合は、正門警備所にて預かりとなります。（カメラ付携帯電話の持ち込みは可能です。）

8. 担当・連絡先

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
労務課 市倉、長山、川本

TEL : 029 - 282 - 9040 Mail : ncl-saiyo@jaea.go.jp



核燃料サイクル工学研究所

1day職場見学会

JAEAの研究施設を見に来ませんか？

皆様のお越しを
お待ちしております



開催日程 | 各回 12:30~17:00

第1回

令和8年

7月17日(金)

BE資源・処分システム開発部



見学施設

地層処分基盤研究施設 (ENTRY)
地層処分放射化学研究施設
(QUALITY)

第2回

令和8年

8月21日(金)

MOX燃料技術開発部



見学施設

プルトニウム燃料
第三開発室 (Pu-3)

第3回

令和8年

9月18日(金)

TRP廃止措置技術開発部



見学施設

低放射性廃棄物処理
技術開発施設 (LWTF)
ガラス固化技術開発施設 (TVF)



応募締切

第1回締切

令和8年7月10日(金) 17時

第2回締切

令和8年7月31日(金) 17時

第3回締切

令和8年9月4日(金) 17時



募集人数

各回15名程度

※締切前であっても応募者が
上限に達した場合は募集
を締め切ります。予め御承知
おください。



申込み方法

下記URLもしくはQRコードより回答
フォームにアクセスいただき、必要事
項をご入力ください。お申込みいた
だけましたら申し込み完了通知メー
ルを送付いたしますので、**公的身分
証明書のカラーデータ**を添付の上御
返送ください。



お申込み先

<https://forms.office.com/r/QFJz9e01T7>



旅費・宿泊費

支給あり！

※宿泊費は上限あり
※複数回参加の場合は2回
分まで支給となります。

その他

- ◆ 当日は、事前に写しを提出いただいた**顔写真付き公的身分証明書の
原本**（運転免許証、マイナンバーカードなど）を必ず御持参ください。
- ◆ 構内は写真撮影が禁止されています。また、カメラの持ち込みも禁止さ
れています。手荷物の中にカメラが含まれている場合は、正門警備所
にて預かりとなります。（カメラ付き携帯電話は持ち込み可能です。）



3つのフィールド

..... 実際に働く職員の声とともにご紹介します！

施設見学会で
ぜひご覧ください！



1 BE資源・ 処分システム開発部

事業概要

次世代再処理技術開発、地層処分研究開発等の先進的な研究開発から、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた研究、廃棄物の処理・処分等、幅広い原子力に係る研究開発を実施しています。

こんな人が働いています！

【業務内容】

プルトニウムやアメリシウムといったα核種の分析の妥当性評価や、使用済み吸着材の分析手法の検討を担当。

【一言】

PuやAmを扱うことがとても貴重な経験だと思っているので毎日が楽しいです。



詳しくはnoteへ！

見学施設（第1回：7/17）



ENTRY

高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究施設です。地下深部の環境を模擬した試験設備等を活用し研究しています。



2 MOX燃料技術開発部

事業概要

高速炉で用いるMOX燃料に係る技術開発等に取り組んでいます。MOX燃料の基礎研究から工学規模の燃料製造施設の実用化開発まで行う、世界でも有数の研究開発拠点です。

こんな人が働いています！

【業務内容】

高速炉内でのMOX燃料の温度を評価するための「熱伝導率」を測定する研究を担当。

【一言】

物性研究には幅広い知識が必要で大変ですが、学会発表の機会などもあり充実した研究生活を送っています！



詳しくはnoteへ！

見学施設（第2回：8/21）



Pu-3

世界初の遠隔・自動運転によるMOX燃料製造技術を採用した施設。現在はその設備を活用し、MOX燃料の量産技術開発や、AI等を利用した製造技術の高度化などを実施しています。



3 TRP廃止措置 技術開発部

事業概要

東海再処理施設（TRP）の廃止措置を進めています。国内初となる大型核燃料施設の廃止措置となるため、安全な施設解体や放射性廃棄物管理に関する技術開発・実証を行っています。

こんな人が働いています！

【業務内容】

東海再処理施設から採取される廃液や環境水等の放射性物質を含む試料の分析とそのデータ解析を担当。

【一言】

分析試料は放射性物質ですが、分析の操作は一般の化学分析と変わらないため、学生時代の技術や知識を活かしています！



詳しくはnoteへ！

見学施設（第3回：9/18）



LWTF

低レベルから高レベルまでの放射性廃液を対象に、処理・固化技術の研究開発を行う施設です。施設内にある放射性廃棄物の安全な処理・処分を支える技術開発を担っています。

専攻分野
(一例)

理学系

数学・情報、物理、化学
生物・農学、地学・地球科学
量子科学 など

工学系

機械・システム工学、電気・電子
材料、土木建築、環境工学、
原子力工学 など

